

授 業 科 目 名	道徳教育の指導法	教 員 名	椋木 香子	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		保育士	
科 目 番 号	SID205	配当年次	2年前期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	必修
科 目 目 的	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）					
各科目に含める 必 要 事 項	道徳の理論及び指導法					
一 般 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育についての基礎的知識と指導法についての基本的な指導法を学ぶ。 ・学習指導要領及び解説書に示された道徳教育の基本方針を理解する。 ・道徳的実践力の育成につながる「道徳の時間」の授業の組み立てについて考え実践する。 ・「道徳の時間」における魅力的な教材開発の実際と道徳性の育成について検討する。 <p>(1)道徳の理論 道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。</p> <p>(2)道徳の指導法 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解する。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)道徳の理論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。 2)道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。 3)子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。 4)学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。 <p>(2)道徳の指導法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。 2)道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。 3)道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。 4)授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。 5)道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。 6)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	<p>全体目標： 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。</p> <p>道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。</p> <p>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の授業を構想し、実践する力を身につけるために、道徳および道徳教育の本質、子どもの心の成長と道徳性の発達、我が国の道徳教育の歴史と特徴と現代社会の道徳教育に関する課題を理解したうえで、道徳科の指導計画、指導方法、指導内容、指導技術について学習する。また、模擬授業の実践とその振り返りを通して、授業改善の視点を学習し、子どもの発達とねらいに応じた1時間の道徳の授業を構想し、学習指導案を作成する。</p>					
授 業 計 画	第1回：「道徳」とは何か・道徳的問題について具体的に考えながら、道徳の本質、道徳教育の意義					

	<p>について、「道徳」概念の歴史の変遷を踏まえて理解する。さらに、「道徳を教える」とはどうことかについて、考えを深める。(目標(1)-1)</p> <p>第2回：現代社会における道徳教育の課題・我が国の道徳教育の歴史を踏まえたうえで、現代社会における道徳教育の課題について考え、道徳の教科化の背景について理解する。特に、いじめ問題、グローバル化を背景とした社会の変化に伴う価値観の多様化を取り上げる。(目標(1)-2)</p> <p>第3回：子どもの心の成長と道徳性の発達①・幼児期から児童期にかけての子どもの心の成長と道徳性の発達について、主にピアジェの研究を中心に理解する。道徳性の発達が他律から自律へ向かうこと、幼児期から児童期においては大人の影響が大きいことを理解する。(目標(1)-3)</p> <p>第4回：子どもの心の成長と道徳性の発達②・児童期から青年期にかけての子どもの心の成長と道徳性の発達について、主にコールバーグの認知発達理論と、道徳的思考の発達に関する理論を中心に学習する。道徳性の発達は単なる知識の集積ではなく、認知構造や社会的視点の変化を指すことを理解する。(目標(1)-3)</p> <p>第5回：学校教育における道徳教育と道徳科の目標・小学校学習指導要領及び小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」に基づき、学校教育における道徳教育の位置づけ、道徳科の目標・指導内容・指導計画について学習する。学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行うことを理解する。(目標(1)-4),(2)-1)</p> <p>第6回：道徳の授業構成と指導方法の特徴・道徳教育の方法の基本的な考え方を理解したうえで、道徳の授業構成(指導過程)と道徳科の特質を生かした指導方法について学習する。特に、道徳科における質の高い多様な指導法について具体的に学習する。(目標(2)-2)</p> <p>第7回：道徳授業の実際・実際の道徳授業のビデオを見て、授業の流れや子どもの反応、教師の働きかけ、教具・教育方法の工夫について学習する。学校や学級の実態、授業のねらいに応じて適切な指導方法を選択する必要があることを理解する。(目標(2)-2)</p> <p>第8回：道徳科における教材の特徴と教材分析①・道徳科における教材の特徴を、内容項目と関連させながら具体的に理解するとともに、授業づくりにもどのように関連しているかを学習する。また、教材の特徴にあった指導方法についても理解する。(目標(2)-3)</p> <p>第9回：道徳科における教材の特徴と教材分析②・読み物教材の分析から発問を設定する手法について、具体的な教材を用いて学習する。主に、登場人物への自我関与が中心の学習となる教材について理解する。(目標(2)-3)</p> <p>第10回：道徳科の学習指導案の作成・基本的な学習指導案の構成と目的、学習指導案の意義について理解し、ねらいを明確にした学習指導案の作成上のポイント、1時間の授業の指導過程とその工夫について学習する。(目標(2)-3),4)</p> <p>第11回：道徳教育における評価と道徳科の評価の在り方・小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」に基づき、道徳教育における評価と道徳科の評価の在り方について理解する。また、道徳教育に関する評価の手法について学習する。(目標(2)-5)</p> <p>第12回：模擬授業と授業改善①・例示の指導案をもとに模擬授業を行い、導入や資料提示の工夫、効果的な板書の工夫、話し方について、授業改善の視点を学習する。(目標(2)-2),6)</p> <p>第13回：模擬授業と授業改善②・例示の指導案をもとに模擬授業を行い、多面的・多角的な考えが表出されるための話し合い活動やワークシートの工夫について、授業改善の視点を学習する。(目標(2)-2),6)</p> <p>第14回：模擬授業と授業改善②・例示の指導案をもとに模擬授業を行い、発達の段階に応じた役割演技や体験活動の技術とそのポイントについて、授業改善の視点を学習する。(目標(2)-2),6)</p> <p>第15回：道徳科の学習指導案の作成・これまでの学習内容を踏まえて、発達の段階に応じた学習指導案を作成する。(目標(2)-2),3),6)</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する評価</p>	<p>学習指導案 50% 期末試験 50%</p> <p>なお、学習指導案のフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案についてはオフィスアワーに口頭で行う。

時間外の学習について	(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習が必要な場合は事前に指示をするので、テキストの該当部分を読んでくること。 ・講義内容を受けて、学習指導案作成を課すので取り組むこと。
テキスト	テキスト：『小学校学習指導要領（最新版）解説 特別の教科 道徳編』
参考書・参考資料等	参考書：鈴木由美子他編著『やさしい道徳授業のつくり方』 溪水社、2012年。 参考資料等：県版道徳資料
担当者からのメッセージ	特になし
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）